

令和7年度 AI-OCR・RPA システム運用支援業務委託評価基準

1 評価方法

この基準は、令和7年度 AI-OCR・RPA システム運用支援業務委託の受託候補者を、令和7年度 AI-OCR・RPA システム運用支援業務委託プロポーザル評価委員会（以下「評価委員会」という。）で選定するための審査方法及び審査基準等を定めることを目的とし、評価委員会の委員は、下記に記載の評価基準に基づき評価する。なお、評価委員会は、提案内容の結果を総合的に判断して、評価基準に従い、審査項目ごとに採点を行う。採点は各委員が行い、その合計点と価格点の合計を得点とする。最も高い得点を得た応募者を受託候補者とする。

審査は書類審査・プレゼンテーション及びヒアリングとする。審査結果は、審査を受けたすべての参加者に通知する。

（ア）日時・会場

令和7年7月15日（火）石岡市役所本庁舎（予定）

※詳細は、別途通知する。なお、順序は、提出書類の提出順とする。

（イ）所要時間 50分以内

- ①準備 5分
- ②プレゼンテーション 25分以内
- ③ヒアリング 15分以内
- ④撤収 5分

（ウ）参加人数

統括責任者を含む5名以下とする。

（エ）使用機器類

プロジェクター及びスクリーンは市が準備する。その他、必要な機器は参加者が準備すること。

（オ）その他

- ①提案書に沿ってプレゼンテーションを行うこと。プレゼンテーションにおいては、事業者が特定されないよう実施すること。
- ②審査は、非公開とする。
- ③審査結果に対する異義申し立ては、受け付けない。

2 評価基準表

評価項目	評価視点	委員1人あたりの配点
実施体制 配点 55	(事業実績) 自治体等における AI-OCR・RPA システムの導入・支援業務の実績はあるか。【重要】	15
	(事業実績) 事業に必要な知見、専門知識、ノウハウについて独自性のある提案ができているか。【重要】	15
	(業務執行体制) 配置予定の統括責任者及び担当者は業務を確実に遂行できる体制か。	10
	(予定事業者の経歴等) 配置予定の従事者の経歴に他自治体等での類似する運用実績があり、短期間で効果を高めることができる体制となっているか。【重要】	15
基本方針 配点 15	(業務実施方針) 本業務の趣旨及び目的を十分に理解し、業務を確実に遂行できるスケジュールとなっているか。	10
	(業務実施手法) 市の特性・現状を踏まえた考え方か。 他自治体等の実施経験を踏まえて市にとって有益な提案を行っているか。	5
RPA 製品について 配点 45	(仕様書) 仕様書を満たしており、独自性・優位性のある提案はあるか。【重要】	15
	(仕様書) 市職員が直観的に操作できるユーザーインターフェースとなっているか。	10
	(仕様書) 他自治体での導入実績が多く、市の業務へ汎用的に活用が見込める製品であるか。【重要】	20
AI-OCR 製品について 配点 45	(仕様書) 独自性・優位性のある提案はあるか。また識字率の高さに優位性があるか。【重要】	15
	(仕様書) 読取帳票設定、バリファイ（読取結果確認）画面のユーザーインターフェースなど市職員が操作しやすい製品か。	10
	(仕様書) 他自治体での導入実績が多く、市の業務へ汎用的に活用が見込める製品であるか。【重要】	20
支援体制 配点 55	(仕様書) 操作に慣れていない職員への十分な支援が見込める内容となっているか。また、障害発生時のサポートは十分か。【重要】	15

	(仕様書) 研修の回数や内容は仕様書を満たしており、導入後の業務拡大に繋がる内容の提案となっているか。	10
	(仕様書) シナリオ作成・導入支援について、本市職員の負担軽減となる提案となっているか。また、既存のシナリオの移行等について提案を行っているか。【重要】	15
	(仕様書) 他自治体の実績等を踏まえ、提案が適切かつ具体的な内容となっているか。【重要】	15
企画提案 配点 20	他社と比較し、優位性・独自性はあるか。	5
	市にとって有益な追加提案はあるか。【重要】	15
プレゼン 配点 15	提案内容及び質問に対する応答に知見の深さ・専門性があるか。	5
	提案内容をわかりやすく解説できているか。	5
	受託するにあたり、積極的な姿勢や熱意が示されているか。	5
合計点		250

評価項目	評価視点	価格点
価格 配点 150	配点×（提案中最低価格/提案者見積価格） ※小数点以下切り捨て	150

3 採点基準

評価	評価内容	採点基準
A	特に優れている	配点× 1. 0
B	優れている	配点× 0. 8
C	標準	配点× 0. 6
D	やや劣る	配点× 0. 4
E	劣る	配点× 0

※ただし、「価格評価」については採点基準に依らず、評価視点に記載の計算式により算出する。

各評価員の評価点の合計＋価格点＝評価得点とする。

4 評価の視点

評価項目	評価視点	評価				
		A	B	C	D	E
実施体制	自治体等における AI-OCR・RPA システムの導入・支援業務の実績はあるか。【重要】	Cに比べて特に優れている（自治体での AI-OCR・RPA システムの導入・支援業務の実績が過去 5 年以内に 5 件以上ある）	Cに比べて優れている（自治体での AI-OCR・RPA システムの導入・支援業務の実績が過去 5 年以内に 3 件以上ある）	自治体での AI-OCR・RPA システムの導入・支援業務の実績が過去 5 年以内に 1 件以上ある。	Cに比べてやや劣る（類似した業務実績であるが自治体以外の実績が過去 5 年以内に 2 件以上ある）	劣る（類似した業務実績であるが自治体以外の実績が過去 5 年以内に 1 件ある）
	事業に必要な知見、専門知識、ノウハウについて独自性のある提案ができているか。【重要】	Cに比べて特に優れている（Cに加え、独自性があり、特に優れた知見や専門知識がある）	Cに比べて優れている（Cに加え、独自性または専門知識がある）	必要な知見、ノウハウについての提案ができています。	Cに比べてやや劣る	劣る
	（業務執行体制） 配置予定の統括責任者及び担当者は業務を確実に遂行できる体制か。	Cに比べて特に優れている（業務を遂行するのに十分と思われる人員を 5 名以上配置）	Cに比べて優れている（業務を遂行するのに十分と思われる人員を 4 名配置）	業務を遂行するのに十分と思われる人員が配置されている。（業務を遂行するのに十分と思われる人員を 3 名配置している）	Cに比べてやや劣る	劣る
	（予定事業者の経歴等） 配置予定の従事者の経歴に他自治体等での類似する運用実績があり、短期間で効果を高めることができる体制となっているか。【重要】	Cに比べて特に優れている（従事者の経歴に他自治体等で 5 件または 5 年以上の類似する運用実績がある）	Cに比べて優れている（従事者の経歴に他自治体等で 3 件または 3 年以上の類似する運用実績がある）	配置予定の従事者の経歴に他自治体等での類似する運用実績がある。	Cに比べてやや劣る	劣る

基本方針	本業務の趣旨及び目的を十分に理解し、業務を確実に遂行できるスケジュールか。	Cに比べて特に優れている（業務の目的と課題を理解しており、解決のための具体的な実施方針が特に優れている）	Cに比べて優れている（業務の目的と課題を理解しており、解決のための具体的な実施方針がある）	業務の目的と課題を理解している。	Cに比べてやや劣る	劣る
	市の特性・現状を踏まえた考えか。 他自治体等の実施経験を踏まえて市にとって有益な提案を行っているか。	Cに比べて特に優れている（Bに加え市にとって特に有益な提案を行っている）	Cに比べて優れている（市の特性・現状を踏まえた上、他自治体等の実施経験を踏まえた提案となっている）	市の特性・現状を踏まえた考え方である。	Cに比べてやや劣る	劣る
RPA 製品について	仕様書を満たしており、独自性・優位性のある提案はあるか。 【重要】	Cに比べて特に優れている（独自性及び優位性があり特に優れている）	Cに比べて優れている（独自性及び優位性がある）	仕様書を満たしている。	Cに比べてやや劣る（一部仕様を満たしていない）	劣る（仕様を満たしていない）
	市職員が直観的に操作できるユーザーインターフェースとなっているか。	Cに比べて特に優れている	Cに比べて優れている	操作しやすいユーザーインターフェースである。	Cに比べてやや劣る	劣る
	他自治体での導入実績が多く、市の業務へ汎用的に活用が見込める製品であるか。【重要】	Cに比べて特に優れている（Bに加え他自治体の問い合わせやシナリオを汎用的に活用できる web サイト等が用意されている）	Cに比べて優れている（Cに加え茨城県内の自治体で導入実績が多い製品である）	他自治体の導入実績が多い製品で業務への汎用的な活用が見込める。	Cに比べてやや劣る	劣る
AI-OCR 製品について	独自性・優位性のある提案はあるか。また識字率の高さに優位性があるか。【重要】	Cに比べて特に優れている（サンプル帳票において正読率 98%以上と認められる）	Cに比べて優れている（サンプル帳票において正読率 95%以上と認められる）	優位性がある。（サンプル帳票において正読率 90%以上と認められる）	Cに比べてやや劣る（サンプル帳票において正読率 90%下回る）	劣る（サンプル帳票において正読率 85%下回る）

	読取帳票設定、バリファイ（読取結果確認）画面のユーザーインターフェースなど市職員が操作しやすい製品か。	Cに比べて特に優れている	Cに比べて優れている	操作しやすいユーザーインターフェースである。	Cに比べてやや劣る	劣る
	他自治体での導入実績が多く、市の業務へ汎用的に活用が見込める製品であるか。【重要】	Cに比べて特に優れている（Bに加え他自治体の設定を汎用的に活用できる環境が用意されている）	Cに比べて優れている（Cに加え茨城県内の自治体で導入実績が多い製品である）	実績が多い製品で他業務への展開が見込める。	Cに比べてやや劣る	劣る
支援体制	操作に慣れていない職員への十分な支援が見込める内容となっているか。また、障害発生時のサポートは十分か。	Cに比べて特に優れている	Cに比べて優れている	メールや電話等の運用保守体制が十分である。	Cに比べてやや劣る	劣る
	研修の回数や内容は仕様書を満たしており、導入後の業務拡大に繋がる内容の提案となっているか。	Cに比べて特に優れている（Bに加えより有益な提案を行っている）	Cに比べて優れている（Cに加え業務拡大に繋がる提案を行っている）	仕様書を満たしている。	Cに比べてやや劣る	劣る
	シナリオ作成・導入支援について、本市職員の負担軽減となる提案となっているか。また、既存のシナリオの移行等について提案を行っているか。【重要】	Cに比べて特に優れている（Bに加えより有益な提案を行っている）	Cに比べて優れている（Cに加え既存のシナリオの移行等について提案を行っている）	負担軽減に繋がる内容である。	Cに比べてやや劣る	劣る
	他自治体の実績等を踏まえ、提案が適切かつ具体的な内容となっているか。【重要】	Cに比べて特に優れている（Bに加えより有益な提案を行っている）	Cに比べて優れている（他自治体の導入実績からより具体的な提案を行っている）	適切かつ具体的である。（他自治体の導入事例の紹介や情報提供を行っている）	Cに比べてやや劣る	劣る
企画提案	他社と比較し、優位性・独自性はあるか。	Cに比べて特に優れている	Cに比べて優れている	優位性・独自性がある。	Cに比べてやや劣る	劣る

	市にとって有益な追加提案はあるか。【重要】	Cに比べて特に優れている	Cに比べて優れている	有益となる追加提案がある。	Cに比べてやや劣る	劣る
プレゼン	提案内容及び質問に対する応答に知見の深さ・専門性があるか。	Cに比べて特に優れている	Cに比べて優れている	専門性がある。	Cに比べてやや劣る	劣る
	提案内容をわかりやすく解説できているか。	Cに比べて特に優れている	Cに比べて優れている	わかりやすく解説されている。	Cに比べてやや劣る	劣る
	受託するにあたり、積極的な姿勢や熱意が示されているか。	Cに比べて特に優れている	Cに比べて優れている	姿勢が積極的と思われる。	Cに比べてやや劣る	劣る

5 選考方法

- (1) 選考委員の評価の結果、評価点の合計が最も高い提案者を候補者とし、随意契約の交渉を行う。ただし、交渉の結果その者と合意に至らなかった場合は、次に評価点の合計が高い提案者から順に交渉を行う。
- (2) 最も高い評価点の合計を獲得した提案者が複数ある場合は、重要度Aの評価項目についてのみ合計し、その範囲において最も高い評価点の合計を獲得した提案者を候補者として選考する。この場合においても提案者が複数となる場合には、選考委員会の合議による優劣の比較を行い、候補者を選考する。
- (3) 参加者（提出者）が1者のみの場合、審査の結果において評価得点が5割以上であるときは、その者を候補者とする。